

夢よこすか 横須賀市議会議員 永井まさと よこすか 未来会議 NEWS LETTER vol.05

発行/2020年11月11日 発行者/永井まさと 〒239-0813 神奈川県横須賀市鴨居3-5-5 <http://www.yumeyokosuka.com/>

横須賀共済病院がPCRセンター設置へ

PCRセンターの運営補助、PCR検査・抗原検査費用の一部負担を議決

11月9日に臨時議会を開会し、新型コロナウイルス感染症対策に関連する補正予算を審議可決しました。内容は、65歳以上の無症状の方が自らの意思でPCR検査を受ける際の助成（本人負担額はPCR検査1万円、抗原定量検査1,500円）、横須賀共済病院にPCRセンターを開設する運営経費補助等です。

地域でクラスターが発生した場合、たとえ同じ部屋にいたとしても濃厚接触者に認定されず、行政検査が受けられないケースもあります。そうしたケースでも望めば検査費用の一部助成が得られることになりました。

よこすか未来会議が今年も優秀マニフェスト推進賞を受賞

私が所属する会派「よこすか未来会議」は毎年来年度予算に対して政策提言を行っています。エリア選抜を通過していたよこすか未来会議の取り組みが、優秀マニフェスト推進賞を受賞しました。2,842件のうちの35件に選ばれました。授賞式は11月13日にオンラインで行われます。コロナ禍においても密を避け、オンラインで会議を行い、また市民をはじめ様々な方とオンライン上で広聴会を実施したことが評価されました。

田浦のアーティスト村を訪問

横須賀の田浦にアーティスト村という場所があるのをご存知でしょうか。昔ながらの自然豊かな景観があり、風情を感じることができるこの田浦の奥まった場所に、市は地域交流に意欲的なアーティストを誘致し、芸術を通じた地域の活性化を図っています。

このアーティスト村にシンボリックな存在を醸し出しているのが、レンガ2000個を使って作られたという田浦和泉窯



です。これを見せてもらいに田浦のアーティスト村にお邪魔しました。

窯を作り上げた陶芸家の薬王寺氏から活動について様々なお話をお伺いしました。薬王寺氏はこの分野でいろいろな賞を受賞している実力派の芸術家で、この地に住み込んで芸術活動と地域活動をブレンドさせた活動を展開されていました。

窯に火をいれるのは並大抵の作業ではありません。薪も大量に必要、窯に入れる作品も300くらい集めてから入れるとのことで、話を聞いて驚きの連続でした。

そうした作業の一つ一つを、地元の住民や地元の学校の児童生徒とともにワークショップ形式やボランティア形式で進めている話を聞いて、とても有意義な活動だなと感じました。

もう一つ驚いたのは、田浦の土を使った作品作り。窯を作るときに掘った土を見て、粘性のある土であることに気づいた薬王寺氏が横須賀の土で横須賀で作る

土器制作にも力を入れたいと話をしてくれました。

地元の小学生が土いじりをしながら、全くのゼロから完成品までの工程を全て体験できることに感動しました。こうした体験ができるのも、地元住民やボランティアの皆さんのおかげと薬王寺氏は謙虚に話してくれました。貴重な体験ができる横須賀のあらたなスポットとして注目の事業と言えます。

議会改革が大きく前進

横須賀市議会は4年間で取り組む実行計画を策定しています。これに基づき、議員提案条例や議会改革の流れを進めています。会議の数が数年前から比べて非常に多くなり、議員提案条例についても、各議員が協力して全会一致を目指して議論するなど、議会全体として公益のために努力する体制が加速しています。議会の通年制への移行は前回の任期中に行いましたが、今回新型コロナウイルスに関連する国・県の補正予算に迅速に対応できる等、効果が現れています。進捗管理表についてはQRコードからご覧ください。



よこすか未来会議

検索

横須賀市公式LINEに登録を

横須賀市は市民や市外の方に知っていただきたい情報をより手軽に届けるため、LINEによる情報発信を始めました。議会からも要望していた情報発信方法です。LINEを使えば、より迅速で利便性の高い情報伝達が期待されます。トーク画面では、災害情報など緊急のお知らせの他、市からの重要なお知らせを発信します。また、友達登録時や受信設定から希望する分野を選択すると、希望した分野の情報も配信します。新型コロナウイルス感染症関連情報、災害・防災その他の緊急情報をはじめ、ごみ、子育て、認知症関連情報も配信しています。ぜひご登録ください。

